

【編集後記】

『立教大学日本学研究所年報』第十七号をここにお届けします。

本号では、公開シンポジウムと研究例会に基づく特集二本、および投稿論文五本を収めています。公開シンポジウムは「大久保利謙と日本近代史研究 家族・学問・教育」、研究例会は「前近代東アジアにおける術数文化の伝播・展開——ベトナムと日本・中国を中心として——」と題したもので、開催当日には共同研究の蓄積をふまえた活発な議論が展開されました。

掲載論文はすべて査読を経たものです。各論文が、文学・語学・歴史学といった日本学のそれぞれの領域の進展に寄与することが期待されます。

本誌に掲載されたものの以外にも、本研究所にかかわる活動は多様に展開されつつあります。それらの成果についても、本誌とは別の媒体での報告が準備されています。

本号の編集作業では、執筆者各位をはじめと多くの方々にご協力をいただきました。また、研究所勤務のWさんには、さまざまな編集実務を担当していただきました。末筆ながら、本誌の刊行にご尽力いただいたすべての方々に、心より感謝申し上げます。

(A)

立教大学日本学研究所年報 第十七号

二〇一八年七月二十五日印刷

二〇一八年七月三十一日発行

編集・発行 立教大学日本学研究所

東京都豊島区西池袋三三四一

一二号館二階B二〇五

TEL/FAX: 〇三—三九八五—二六一七

E-mail: nihongaku@rikkyo.ac.jp

発行人

水谷隆之

印刷

城島印刷株式会社